



大学院保健学研究科 特集

すべての教員・学生が自分らしく活躍できる環境へ ～保健学研究科における男女共同参画・ ダイバーシティ推進の取り組み～

保健学研究科は、教員の約半数が女性であり、学生の女子率も高いという特徴を持っています。当研究科では、多様な背景を持つ教員や学生が安心して研究・教育業務や大学生活に専念できるよう、環境整備とキャリア支援の双方から男女共同参画・ダイバーシティ推進に取り組んでいます。

今回は、保健学科内に新たに設置された施設や、全学ダイバーシティ推進センターの支援を活用した最新の取り組みをご紹介します。

1. 安心して多目的に使える「ダイバーシティ支援室」を設置

2026年7月、保健学研究科教員が利用できる鍵付きの多目的部屋「ダイバーシティ支援室」を開設しました。本室のキーナンバーには、“ダイバーシティ(多様性)”をイメージしたこだわりの番号を設定するなど、親しみやすさにも工夫を凝らしています。

この部屋は、教員の多様なニーズやライフイベントに応えるフリースペースとして活用されています。

◆子育て・介護との両立支援

子どもを連れての執筆作業や、介護に伴う一時的な対応などに利用できます。

◆プライバシーの確保

助教部屋などの大部屋環境では難しかった「更衣」や「プライベートな個別面談・相談」など、プライバシーを守りたい場面でも活躍しています。

「周囲を気にせず一時的な作業や面談をしたい」という際に、教員が柔軟に利用できる環境を整えています。

※「ダイバーシティ支援室」は保健学科教員を対象とした施設です。利用方法等の詳細は保健学研究科までお問い合わせください。



2. 「ダイバーシティ推進チャレンジ支援」 2年連続採択！

ダイバーシティ推進センターが企画する助成事業「チャレンジ支援」において、保健学研究科の取り組みが2年連続で採択されました。研究成果の国際発信や、多様な研究者のキャリアアップを力強くバックアップしています。

◆昨年度の成果(企画名:看護学女性助教の国際学会への発表促進)

看護学女性助教の国際学会への発表の促進を目指し、海外で開催された国際学会への渡航費の一部助成を実施しました。2名の看護学女性助教が助成を受けて、それぞれカナダとフィリピンで開催された国際学会で研究発表を行いました。

◆今年度の展開(企画名:看護学女性助教の国際発信力強化プロジェクト)

今年度は支援範囲をさらに拡大しました。研究の国際化を包括的に推進するため、「AI研究支援ツールの利用費」「英文論文の投稿費」「英文校正費」への助成として活用する予定です。

3. 海外のトップ研究者から学ぶ！特別講演会＆相談会を開催

ダイバーシティ推進センター「女性若手教員キャリアアップ支援事業」に保健学研究科・王妍蘊先生の企画が採択され、国際的に活躍する研究者を招いたイベントを実施しました。

オーストラリア・グリフィス大学のWendy Chaboyer 先生をお招きし、『Cochrane Review Processes: Experiences as an Author Fourteen Years and Seven Reviews Later』をテーマにご講演いただきました。コクラン・レビューを執筆された経験に基づく知見に、参加者は深く見入っていました。

また、講演会に先立って行われた相談会では、助教や大学院生が研究上の疑問や悩みを直接先生に相談する機会を得ることができました。国際的な研究活動に向けた大きなステップとなる、実りある時間となりました。



4. 誰もが過ごしやすいキャンパスへ！「生理用品」と「誰でも更衣室」を設置

保健学研究科では、教員・学生が日々過ごすキャンパスの生活環境やプライバシー面での配慮・整備も積極的に進めています。

◆女性トイレ内への「生理用品」の設置

急な必要時にも安心してキャンパス生活を送れるよう、新棟および西棟内の女子トイレに生理用品を配備しました。

◆プライバシーを尊重する「誰でも更衣室」の新設

保健学研究科では技術演習や病院実習の際にユニフォームへ着替えますが、従来は大人数で共有する男女別の更衣室しかありませんでした。そこで、「着替えの様子を見られたくない」「個室で着替えたい」という学生・教員からの切実な声に応え、個室で着替えができる「誰でも更衣室」を設置しました。本室はキーナンバー管理を行っており、プライバシーや多様な個性を尊重した安心・安全な環境を提供しています。

保健学研究科では、今後も教員・学生の一人ひとりがライフイベントや環境の変化に左右されることなく、持てる力を最大限に発揮できるよう、今後も教育・研究・キャンパス生活環境のさらなる充実を目指してまいります。

お知らせ

●理工学部・大学院理工学府ダイバーシティ推進委員会でホームページを開設しました(2026年3月)

理工学部・大学院理工学府では、「誰もが学び、働きやすい理工学部へ」を目標に、イベント情報や活動報告、環境整備・各種手続きを案内しています。理工ダイバーの活動方針や活動内容について「見える」化し、環境醸成を目指します。

※経費の一部は、ダイバーシティ推進チャレンジ支援を活用しました。



HPのトップページ <https://rikou.diversity.gunma-u.ac.jp/>

●ダイバーシティ推進センター女性研究者共同研究促進助成 採択者

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ・瀬戸 絵理 (医学系研究科 助教) | ・張 慧 (理工学府 准教授) |
| ・松原 希宝 (理工学府 助教) | ・金 舞 (医学部附属病院 助教) ※敬称略 |

今後の予定

●「令和9年度 研究活動支援」を募集します

詳細は、後日メールでお知らせします。

●ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク講演会

11月9日(月) 15:00~16:00 (オンライン)
テーマ 群馬大学における学生支援について(仮)

対象:会員(本学含む)・連携機関の教職員
講師:五味 洋一 氏
(学生支援センター障害学生支援室長)

●大学幹部・教職員FDセミナー

11月18日(水) 16:00~17:10 (オンライン) 対象:教職員
 講師:菊池 あしな氏(茨城大学ダイバーシティ・国際担当理事)
 テーマ:多様性を力に変える大学へ



●ダイバーシティ推進センター 講演会

12月7日(月)または12月14日(月) (オンライン) 対象:教職員
 講師:弁護士、社会保険労務士
 テーマ:さまざまなハラスメント・判例に学ぶ(仮)

●ワーク・ライフ・バランスセミナー

(第1回) 12月11日(金) 15:00~16:00 座談会 16:00~ 対象:教職員

開催方法:講演会は、対面とオンライン、座談会は対面のみ
 場所:生体調節研究所 会議室
 講師:松山 誠氏(重井医学研究所 分子遺伝部門 部長)
 テーマ:子育てする。研究も頑張る。
 —研究者のワーク・ライフ・バランス—



(第2回) 1月~2月中に開催予定

開催方法:オンライン
 講師:中里 智子氏(産婦人科医・医療の質・安全学講座 助教)
 テーマ:正しく知って、支え合う—更年期の基礎知識とセルフケア—

●性の多様性講演会

1月12日(火) 14:20~15:50 オンライン又は講義室で参加可
 対象:教職員・学生(ジェンダー論・ジェンダー入門の履修者は申込不要)
 講師:一般社団法人ハレルワ 間々田 久渚氏
 テーマ:多様な性ってなんだろう —互いの違いを尊重できる社会を目指して—

●入試業務・学会等の出張に係る託児費用の補助

本学に勤務する教職員が入試や出張などの業務を命じられた際に、託児等にかかる費用を一部補助しています。随時、受け付け中。

